

4-1 伊豆半島およびその周辺の地震活動（1999年11月～2000年4月） Seismic Activity in and around the Izu Peninsula. (November, 1999-April, 2000)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図右は1996年1月1日～2000年5月7日までの期間に伊東市鎌田観測点で観測されたS-P時間が6秒以下の地震の日別地震回数で、同図左は2000年2月1日から4月30日までに伊豆半島およびその周辺に発生した地震の震央分布である。1998年4月20日～6月2日の群発地震活動¹⁾の後、地震活動はしだいに落ち着き、鎌田の地震回数は1995年9月や1996年10月の群発活動前のレベルまで低下した。1998年の群発地震活動の後、静穏な状態がほぼ2年間続いている（第2図）。

1997年6月26日頃から始まり、30日に活発化した伊東港北沖の地震活動は、消長を繰り返しながら、深さ6～8km前後のところで継続して発生してきた。しかし、1998年末頃からほとんど見られなくなった。また、汐吹崎付近を中心とした過去の活発な群発地震の震源域で地震がほとんど発生していない(第3図)。伊豆半島の東の沖合い（この期間、M3クラスの地震が3個発生）と伊東港の北に少しまとまった活動が見られるのみである。

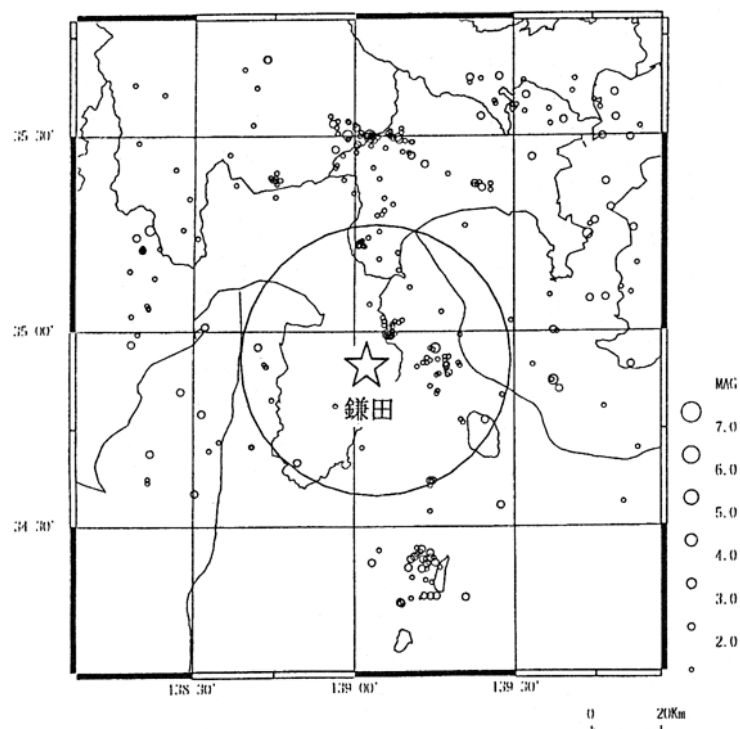
1998年4月から6月までの群発地震活動後（1998年6月2日以降）の活動休止期間は本年5月15日現在713日で、鎌田の地震回数の統計を取り始めた1978年11月以降で群発地震の間の休止期間としては、第1位の手石海丘海底噴火後の713日（1989年9月6日～1991年8月20日）と並んだ（第4図）。

参 考 文 献

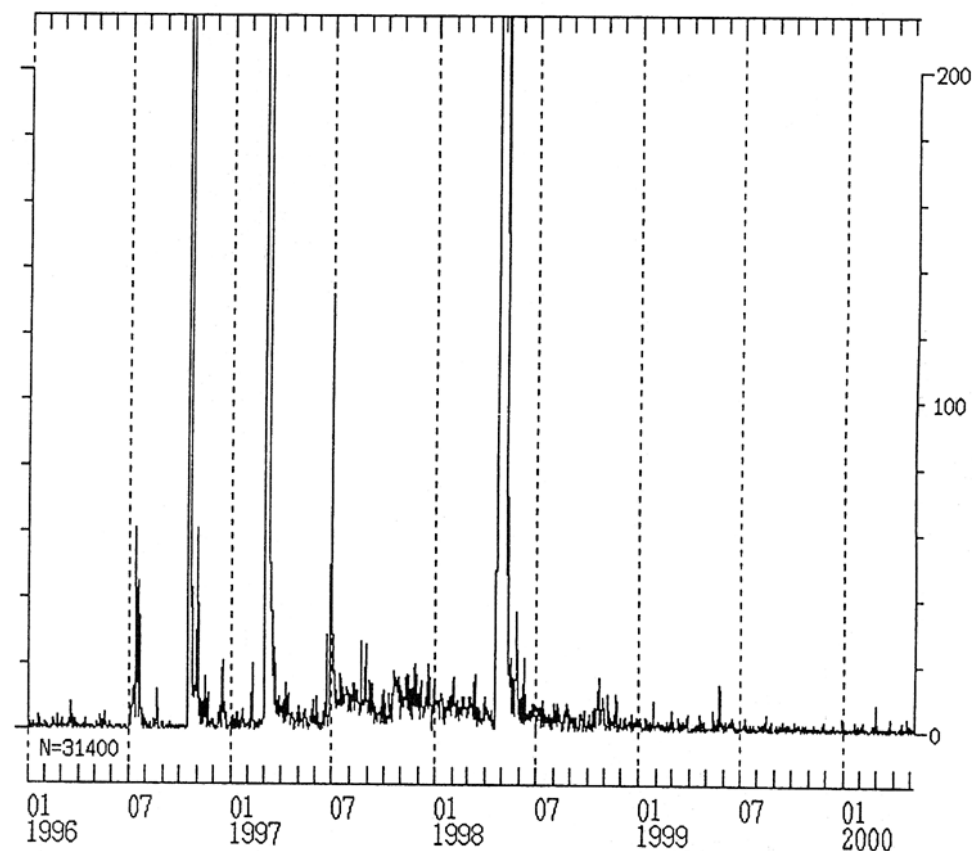
- 1) 気象庁地震予知情報課：伊豆半島およびその周辺の地震活動，連絡会報，61(1999)，218-221

伊東市鎌田における日別地震回数 1996年1月1日～2000年5月7日(S-P $\leq$ 6sec)

2000年2月1日～4月30日の震央分布



0 $\leq$ 深さ $\leq$ 90 km
図の円内は鎌田における S-P $\leq$ 6sec の範囲を示す。

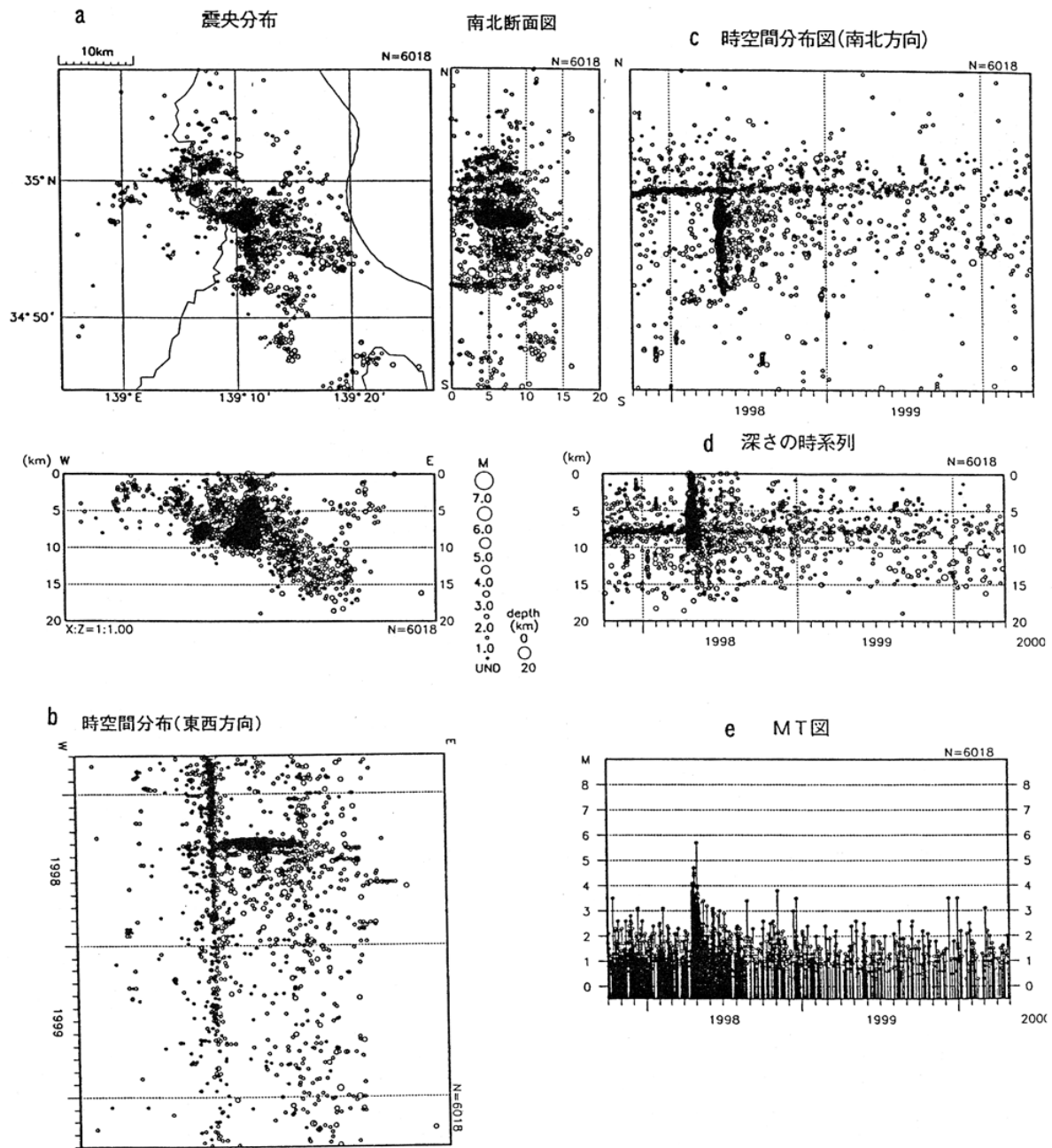


第1図 1996年1月1日～2000年5月7日までの伊東市鎌田における日別地震回数(S-P $\leq$ 6秒) 挿図は2000年2月1日～2000年4月30日の震央分布

Fig.1 Daily number of earthquakes observed at Kamata in Ito city (S-P time $\leq$ 6.0 sec) from January 1, 1996 to May 7, 2000. Inset shows epicenters for February 1, 2000 to April 30, 2000.

伊豆半島東方沖の地震活動（1997 年 10 月以降） [観測点補正値を用いた再決定震源]

1997 年 10 月 1 日～2000 年 4 月 30 日

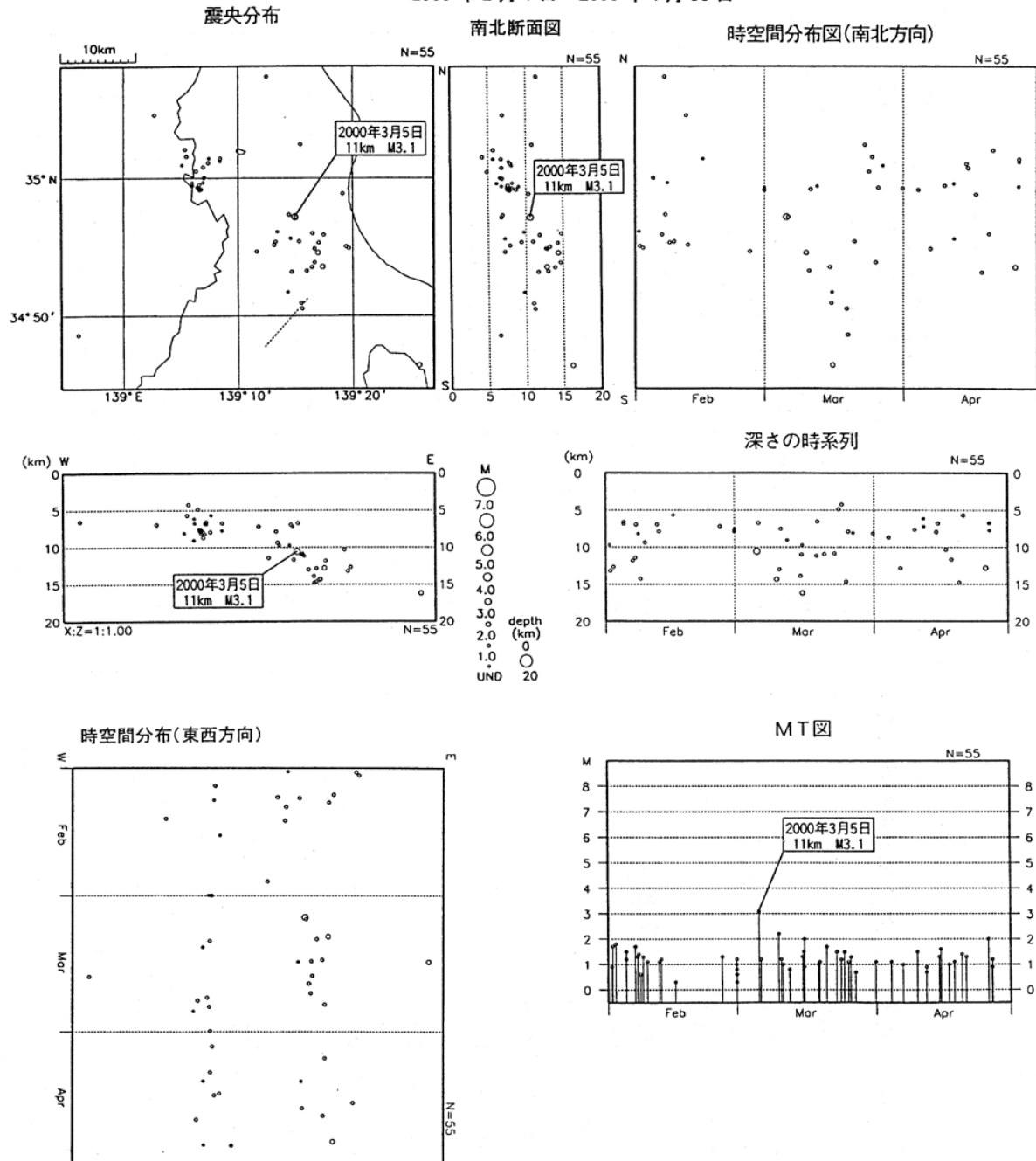


第 2 図 1997 年 10 月 1 日～2000 年 4 月 30 日の伊豆半島東方沖の地震活動 a:震源分布, b:東西の時空間分布図, c:南北断面の時空間分布図, d:震源の深さの時間変化, e:M-T 図

Fig. 2 Seismic activity off east coast of the Izu Peninsula from October 1, 1997 through April 30, 2000. a: Hypocentral distribution, b: time-space plots along E-W direction, c: time-space plots along N-S direction, d: focal depth-time diagram, e: M-T diagram.

伊豆半島東方沖の地震活動（最近3ヶ月間） [観測点補正値を用いた再決定震源]

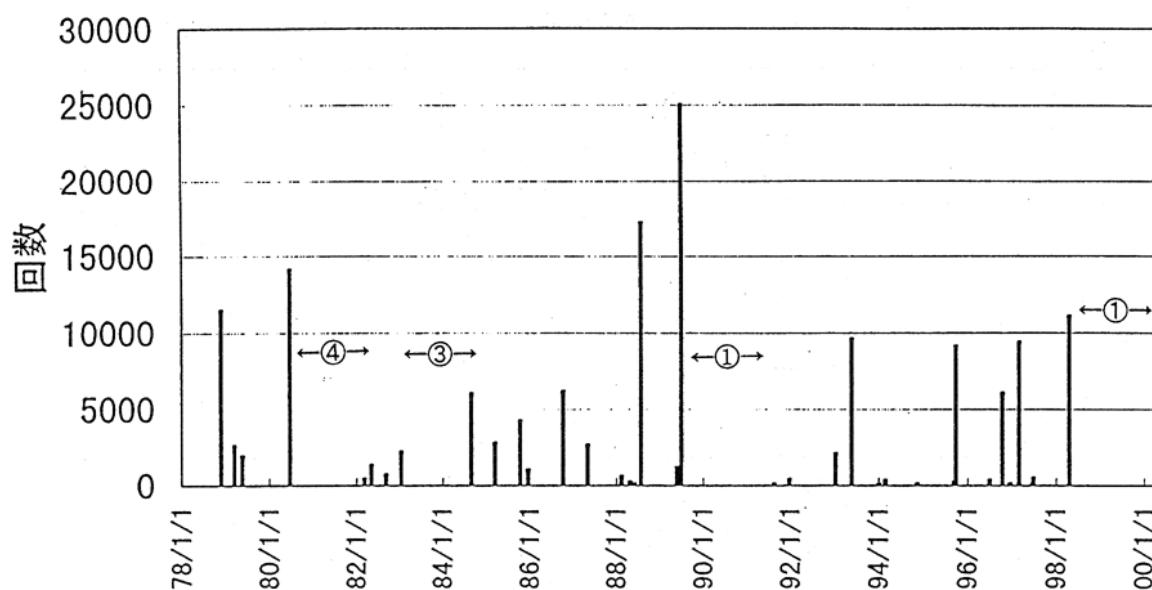
2000年2月1日～2000年4月30日



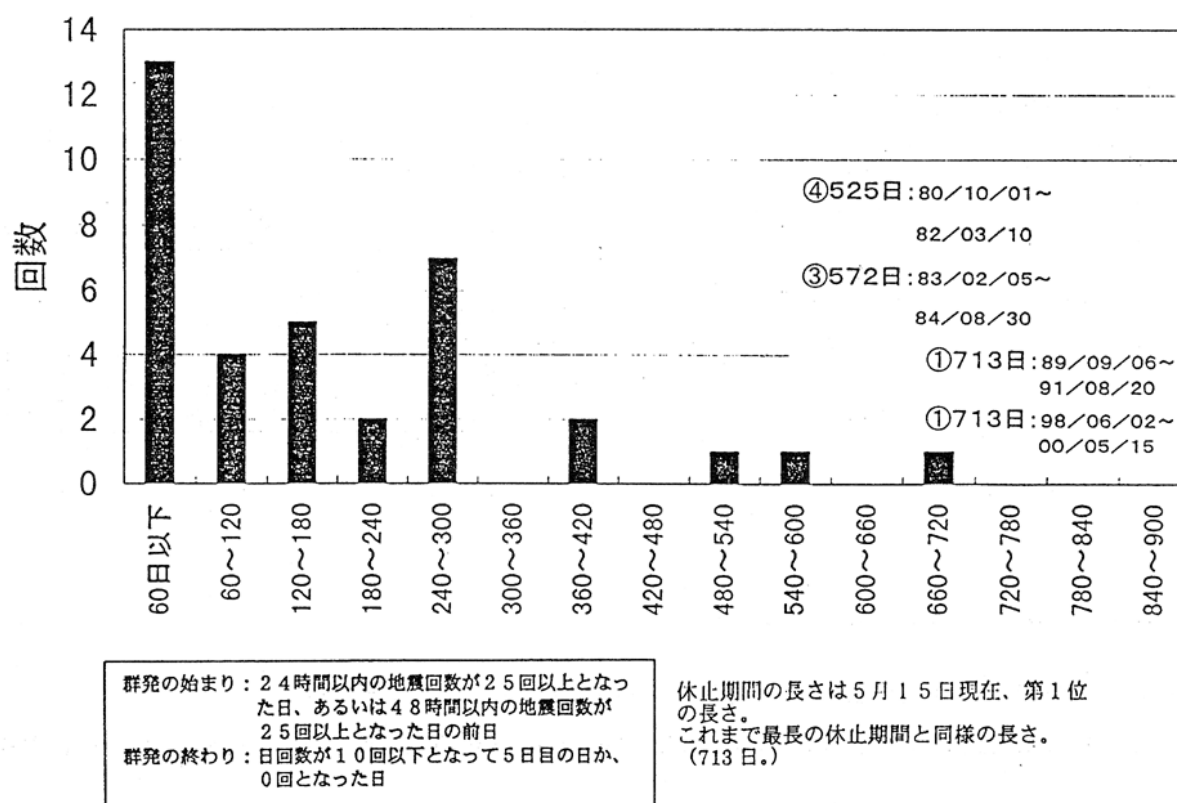
第3図 2000年2月1日～2000年4月30日の伊豆半島東方沖の地震活動

Fig. 3 Seismic activity off east coast of the Izu Peninsula from February 1, 2000 through April 30, 2000.

鎌田地震回数(群発活動別)



休止期間:終了から発生までの日数の頻度



第4図 伊東市鎌田における群発活動別地震回数と休止期間の頻度分布

Fig. 4 Total earthquake number corresponding to each seismic swarm activity and frequency histogram of the length of seismic quiescence observed at Kamata in Ito city.